

地域づくり活動 NPO 事業助成（連携重視）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 友之会	代表者名	理事長 阿部 佳代子
事業名	おともだちプラス交流プロジェクト事業		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2020年 4月 ～2021年 3月 (毎週月曜日)	就労継続支援B型事業所「ぽこあぽこ」：野菜搬送・販売補助 NPO法人「蓼の会ぐりん・どあ」：米搬送 各48回 (※精神障害者が飲食業での訓練を通じて就労支援や社会復帰事業を行っている法人)
4月～3月 (毎月第二日曜日)	木の芽福祉会家族会 兵庫県福祉センター：野菜の搬送・販売 7回 (会場の都合により5回中止)
10月18日	丹波篠山市内：黒枝豆収穫体験 さんでーかふえ(就労支援者施設ぽこあぽこ)利用者/従事者22人 あぷり(高齢・障がい者生活自立支援)2人 地域高齢者6人・当会スタッフ4人 (計34人)
10月25日	丹波篠山市内：黒枝豆収穫体験 木の芽家族会11人・幸地クリニック2名・あぷり1人 東部精神サポートネット5人・地域高齢者5人 当会スタッフ3人 (計27人)
11月 1日	丹波篠山市内：黒枝豆収穫体験 東部精神サポートネット12人・地域高齢者6人 あぷり2人・当会スタッフ4人 (計24人)
11月15日	丹波篠山市内：黒枝豆収穫体験 東部精神サポートネット8人・地域高齢者4人・あぷり2人 当会スタッフ3人 (計17人)
11月～ 2月	ホームページ 作成 (ソフトウェアの変更・問い合わせページ等の追加)
8月～ 3月	茅葺古民家利用(つどいの場)の周知活動、および修繕活動 チラシ配布・元気市での掲示にて延べ人数76名の古民家利用

<効果と成果>

設立当初より行っている、高齢生産者の余剰「野菜」を就労支援事業所に継続的に搬送をした。消費しやすい「野菜」は、地域住民の関心を持ちやすく当事者たちもスムーズに社会とつながることができ、就労意欲を持つことができた。また生産者も消費してくれることで役にたっているという気持ちになり、生きがいにも繋がった。

黒枝豆収穫体験は、土に触れ、自然の中で体験することで、生産地にも興味を持ってもらうようになった。大勢で農作業することは皆で達成感を味わい、それぞれ笑顔が増え、それぞれの立場で前向きな気持ちになれたことが大きな成果である。

今後も「社会の役に立ちたい」気持ちを実現し、「働く願い」を社会に繋げていく。そして、茅葺古民家をそれぞれの立場で「つどいの場」「癒しの場」として大いに活用していく。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
おともだちプラス交流プロジェクト	50,000
自己資金	164,579
合 計	714,579

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直接経費	旅費交通費	115,000	100,000
	ボランティア謝金	211,200	110,000
	資材費	176,110	150,000
	その他 (広告・消耗品他)	198,310	140,000
	小 計	700,620	500,000
	間接経費 (一般管理費)	13,959	0
	合 計	714,579	500,000